

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第7章 県民の視点にたった安全・安心で質の高い医療体制の整備

第5節 訪問看護ステーションの役割

とりまとめ担当課：医療課

1 課題に対するこれまでの取組実績

○訪問看護を担う看護師等の養成・確保
→ 訪問看護師の養成講習会、導入研修、管理者研修を実施、延べ436名が受講した。
○小規模な事業所における、最新の看護技術情報の不足、自己研鑽環境の乏しさ
→ 教育支援ステーションでの研修会を7医療圏で実施、延べ855名が参加した。
○高齢多死社会を迎え、在宅における看取りや医療依存度の高い利用者等への対応の増加
→ 訪問看護ステーション・医療機関等の看護職員相互研修を実施し、136名が受講した。

2 参考指標の推移

指標名	単位	神奈川県内					参考指標を設定した理由	備考
		H30	R1	R2	R3	R4		

3 課題ごとの進捗状況の評価

○訪問看護を担う看護師等の養成・確保

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・ 訪問看護師への研修を実施し、訪問看護師の質向上と継続就業に寄与した。
評価理由	・ 病院とは違う居宅での看護の提供に自信を持ってあたることで、離職を防止し、継続的な就業と人材確保につながっている。

○小規模な事業所における最新の看護技術情報の不足、自己研鑽環境の乏しさ

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・ 教育支援ステーションでの研修会を実施し小規模訪問看護ステーションを支援した
評価理由	・ 訪問件数が事業所収益に直結する訪問看護ステーションにおいて、身近な地域で知識・技術を学ぶ機会をつくることで訪問看護の質の向上をはかる。

○高齢多死社会を迎え在宅における看取りや医療依存度の高い利用者等への対応の増加

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・ 看護職員相互研修を実施し、地域包括ケアの円滑な推進に寄与した。
評価理由	・ 参加者の地域を考慮したグループワークを実施することで、情報交換や顔の見える関係性の構築がに寄与している。

4 総合評価

評価	評価理由
B	県内の訪問看護師数は増加傾向であるが、多様化する在宅医療のニーズと需要の増加に対応する訪問看護師の養成と確保は引き続き喫緊の課題であるため、引き続き研修等を行っていく。